

## 6月11日 第1回新しい学校を考える会 ワークショップ「地域とつながる学校のあり方」

第2回新しい学校を考える会\_190703  
資料2

### 早来中学校の再建について

- ・早来中学校の再建が第一であったのに、議論が義務教育学校や学校選択制になっていることが疑問である。
- ・地域開放をどうするかより、早来中学校の早期再建が第一であることに変わらない。
- ・安平町に小学校が何校も必要なのか。人口が減っていく中で、維持していくコストが多くなってしまっているのではないかと、子どもたちの将来に負担となってしまうのではないだろうか。
- ・小学校が統合した場合、自動運転のバスが導入されるのであれば、通学にも支障がないのではないかと。

### 新しい学校の地域利用について

- ・足湯があるとよい。
- ・家庭科室を使ってみたい。
- ・お節介なおじちゃん・おばちゃんが増えたらいいな。
- ・高齢者が出入りしやすいサロン（特におじさんが）があるとよい。
- ・給食を食べに行きたい。
- ・地域の人が学校にいてことでセキュリティになるのではないかと。
- ・バス停などの利便性についても配慮できると、地域住民も活動しやすい学校となるのではないかと。

### 安平町の教育資源について

- ・スポーツが盛んで長く続ける子が多い。
- ・ふるさと教育について他の地域から来た先生から評価されている。
- ・立地として空港が近く、自然が多い。
- ・今年のうまか祭りから、毎年行っていた小学生の鼓笛隊がなくなった。一生懸命練習しても発表の場が、学芸会と運動会しかなくなってしまった。発表ができる場をできるとよい。
- ・陶芸教室など住民の文化団体があるので、講師として、学校に来てもらう。
- ・屋外について（グラウンド・野球場）は早来中学校を整備すれば利用できるのではないかと。安平町の全施設を網羅して活用できるシステムがあるとよい。
- ・馬の町として発展してきたが、まだまだ馬について知らない子どもたちも多い。

## 6月22日 第1回教職員検討会

教職員検討会の設置目的、コンセプト・目標と、先進校事例の説明後に上がった意見や質問を以下に示す。

### 事業について

- ・今までの経緯について説明してほしい。1月の広報で義務教育学校となることを知った。義務教育学校について校長に確認しても、詳しい情報は知らないと言われた。いつの段階で、義務教育学校になったのか？
- ・義務教育学校についてなど、反対の意見も出してよいのか？
- ・調査資料の事業の組み立てでは、中学校単体の再建か、小中学校一体化での再建か決まっていない内容だが、その内容を飛ばして先進事例についての感想や意見を、今回は話し合うということなのか？
- ・今回の教職員検討会に期待していたのは、事業費、工期、造成の目途はあるのか、ないのか等の事業内容である。
- ・合同学校運営協議会で、義務教育学校や学校選択制についてどうなるかは決まっていない。決定する前に教職員に意見を聞くことはないのか？

### 教職員検討会について

- ・早来小学校で過ごしている中で校舎の課題は見つかるが、先進事例のような未来的な学校を考えることや、考えを述べることは難しい。
- ・集まる目的をはっきりしてほしい。教職員検討会のために忙しい中、時間を割いて参加している。このような会を教職員が集まって行う必要があるのか。以前、アンケートに答えたが、それだけでは不十分な内容だったのか。教職員検討会に参加している先生の負担を考えるべきだ。

### 先進校事例について

- ・全国の先進事例を見たが、教科教室型を実現した後の、集団形成での良い効果や学力向上があったのか？または課題はあったのか確認したい。
- ・学習面での効果を得るには、指導も変わらなくてはいけないのではないかと。

## 6月22日 教職員検討会

意見や疑問、要望を書き出してもらった内容を以下に示す。

### 教育・学校運営について

- ・「中一ギャップ」が上に上がっていきただけではないのか。  
「高1ギャップ」取り戻しがつかなくなるのではないのか。
- ・中1ギャップは今のところ少ない。  
小中の時間割は今でも割り振りが大変なので、大丈夫でしょうか。
- ・制服についても今後考える予定ですか。
- ・現在、中学校では遠浅小・安平小からの生徒が来ることで人間関係が良くなっている。
- ・転入生・転出生のつなぎ教育の保障はあるのか。
- ・人間関係は今でもずっと固定化していて、さらに窮屈になる人が出そうで心配。
- ・部活で学校選択制を考える親が多いのではないのか。
- ・IoTやICTを取り入れるにあたって、詳しい人が常に配置できるのか。

### 学校施設について

- ・耐震は確保されるのか。
- ・いろいろな施設がありすぎて、自閉症の子にとって問題はないのか。
- ・令和4年度に中学生は2クラス、特別支援は3クラスの場所の確保が必要。
- ・校内教室・廊下・壁面・天井など、いたるところにホワイトボード・ICT機器・プロジェクター・タブレット・デジタル教材等が活用できる場がある。
- ・高速Wi-Fiと、それに対応した性能を有するPC・タブレット、メモリや処理能力もあるもの。
- ・省エネ・グリーンカーテン。
- ・床暖・床・壁・パイプ 冷暖房循環。
- ・特別支援学級 個室・小ホール・プレイルーム・シャワールームが必要。
- ・図工室・理科室・家庭科室など特別教室の充実。
- ・フリースペース、オープンスペース。
- ・2アリーナ（大・中）。
- ・トレーニングルーム。
- ・広い図書館、くつろげるスペース。
- ・体育館明るく、2つは必要。
- ・クーラーは設置されるのか。

### 管理諸室について

- ・職員室、保健室は1階がよい。
- ・職員室が廊下から見えるのは、業務に支障あり。  
（評価や採点、個別の支援計画作成など、個人情報も多く扱う場所なので）
- ・職員室のガラス張りは、テスト作成の時どうするのですか。  
追分中学校では常時カーテンをつけている。

### 地域開放について

- ・安全性の確保の仕方を明確にしてほしい。
- ・授業中に人の出入りがあると、落ち着きが失われる。  
（ADHDの子など）スペースは分けるべき。
- ・清掃は生徒が行うのか。地域開放があると時間的に無理なのでは。
- ・各スペース（特別教室）の割り振りを教員がするのか。  
業務が増え、働き方改革に反する。
- ・図書室も地域開放するなら、管理者を常駐させる必要がある。
- ・地域開放は授業時間中だと、調整する人が大変。
- ・学校施設内に、プール・公民館・里山・グラウンド・ジム・道場・図書館等を併設。（バスでの移動が必要なくなる、町民利用・活用）

### 敷地について

- ・敷地はどこから、どこまでなのか。体育館・テニスコート・トラック（300m）  
野球グラウンドは確保できるのか。（校舎が盛りだくさんだが）

### オープンスペースについて

- ・音がお互いに邪魔になる。ADHDの子には、かなり辛い。診断はされていなくても、その傾向がある子は現状で少なくない。
- ・空調に問題がある。寒かったり、乾燥したりするので、温度・湿度の管理ができるように。
- ・オープンスペースは寒い。

### その他

- ・備品まで予算があるのか。 ・虫が困る
- ・床暖は寒い。